

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	続・温井里山活性化事業
事業主体 (連絡先)	温井むらづくり委員会 担当 村山 Tel0269-69-2773
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 (6)オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,343,029 円 (うち支援金: 917,000 円)

事業内容

- 空き寺を食事処「集落カフェ」として改修整備した。
- なべくら高原森の家とのコラボで参加者を募集し、集落カフェ「癒しのイベント」を3回開催した。
- ① 6/27日(土)参加者20名 ピラテイス、昔話、
昼食交流会：山菜米粉ピザ他
- ② 9/10日(木)参加者17名 ホットヨガ、昔話、
昼食交流会：地元野菜の米粉ピザ他
- ③ 11/14日(土)参加者16名 ワラ細工、昔話、 昼
食交流会： 木の実ときのこの米粉ピザ、白菜のス
ープ、カボチャのプリン、コーヒー 他



【 昼食交流会

【目標・ねらい】

- ① 集落カフェをオープンし、軽食を提供する。②ヨガや昔話等を取り入れて、癒しの場となるように取り組む。③集落や食の話を通して、再度訪れてみたい場所となるよう研究する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 地元野菜を中心とした米粉ピザやデザート、スープは大変に好評で、参加者に大満足していただくことができた。
- ② 老杉の残る大門や、ブナ林を背にした本堂での癒しのひとときは参加者から大変好評でした。
- ③ 交流会では様々な参加者が一人ひとり自分の思いを語る場面が多く見られ、また率直な意見も聞かれ、今後の運営の参考とすることができた。

※自己評価【A】

【理由】
参加された皆さんの大満足の声を多く聞くことができた。

今後の取り組み

今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者からのアドバイスを大切に、地元の米や野菜・山菜にこだわった健康的で安全なおいしい食事の提供を地道に続けていくことによって、運営体制を整え、行く行くは集落カフェを週1回はオープンしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある